

Rotary



2016~2017 年度

国際ロータリーテーマ

人類に奉仕するロータリー

国際ロータリー会長 ジョン F. ジャーム

第 2790 地区ガバナー 青木 貞雄

第 6 分区ガバナー補佐 河野 知宏

東金ロータリークラブ会長 小林 信雄

" 幹事 秋葉 芳秀

" 広報委員長 長尾 邦俊

東金ロータリークラブ 概要

Togane RC Information

創立 1959 年 9 月 15 日

R I 承認 1959 年 10 月 17 日

例会日 火曜日 12:30~13:30

例会場 東金商工会館 4 階

Makeup fee ¥2,000

WEB <http://www.togane-rc.jp/>

事務所 〒283-0068

千葉県東金市東岩崎 1-5

東金商工会議所内

TEL 0475-52-1101(代)

FAX 050-3730-2559

E-mail info@togane-rc.jp

第 58 卷第 20 号 通卷第 2753 号

第 2766 回 例会**2017 年（平成 29 年）1 月 31 日**

12:30 点鐘 東金商工会館 4 階 例会場

Program

開会宣言・点鐘	小林 信雄 会長
歌	「R-O-T-A-R-Y」
四つのテスト唱和	秋葉 芳秀 幹事
お食事	みつはし
お客様紹介	菅原 實 会員
会長挨拶	小林 信雄 会長
幹事報告	秋葉 芳秀 幹事
卓話	栗原 洋一 様 (千葉北 R C)
	国際ロータリー 2790 地区
	奉仕プロジェクト委員会
	職業奉仕委員会 委員
御礼	小林 信雄 会長
ニコニコ BOX 発表	親睦委員会
出席報告	管理運営委員会
閉会宣言・点鐘	小林 信雄 会長

第 2765 回 例会の記録<1月 24 日>

会長挨拶



小林 信雄 会長

本日は古川運送株式会社のご好意により、新しく完成された新社屋の此処で移動例会を開催することになりました。東金ロータリークラブにとっては、菅原工芸硝子の移動例会と共に確かな歴史の1ページであります。冒頭ではありますが、本席をご用意いただきました古川秀夫会長はじめ、当社の皆様に改めて御礼申し上げます。

皆様ご存じのとおりロータリーの構成は従来、職業人、専門職を以て組み立てられた団体でございます。職業を通しての奉仕を目指すことを“めあて”とする集団なのであります。親睦もございます。

本席ではまた、当社において業務遂行を通じて立派に貢献されている多田良恵様へのクラブ表彰も行うことになっています。ロータリーの基本理念に適うものではないでしょうか。

先週金曜日には九十九里ヴィラそとぼうホテルにおいて会長・幹事会がありました。分区9クラブ全体として会員数の減少傾向にあって、その中で会員数6名のクラブもございます。それでも立派に地域社会に対して何らかの奉仕活動を実践しながら、力を尽くして広く社会に役立っていることを確認することができました。

心温まる思いで喜びながら帰途につきました。そこは6名の各自が自分自身の手で作り上げる活動団体であるからなのです。そのほか、会長幹事会では情報研修会の報告、IMのご案内、各クラブの創立記念例会のご案内がありました。詳しくは幹事さんから報告があると思います。

社会全体を見渡しますと、トランプ現象が今、真っ盛りでございます。どういう時代背景になっていくのかわかりませんけれども、社会奉仕をする人に対して礼を尽くすということはなくならないだろうと思います。われわれも手作りの奉仕活動にまい進して参りたいと思いました。本日は古川運送株式会社のご好意により、このような例会を開催することができました。もう一度御礼を申し上げたいと思います。

幹事報告



秋葉 芳秀 幹事

○1月31日の例会は地区職業奉仕委員会から栗原洋一さんがお見えになり、卓話をしていただきます。職業奉仕に関して、ロータリーの友1月号の最初のページに記事がありますので、参考になさってください

○2月2日19時から東金ビューRCの創立記念例会が八鶴亭で行われます

○2月4日財団の補助金セミナーがあり、会長・幹事・鈴木康道会員が行って参ります

○2月15日分区のIM場所は長柄になります。バスを用意します。式典の後、茂原RCの鈴木禱夫様より記念講演「人類に奉仕するロータリー」があります。特別公演は元NHKのアナウンサーの宮田修様で演題は「モンゴルと私」です

○銚子RCから3月18日創立60周年記念例会のお誘いがありました

○茂原RCから4月8日創立60周年記念例会のお誘いがありました。後日出欠席を取ります



多田 良恵 様

会社概況説明



古川毅彦 代表取締役社長
皆様こんにちは。古川運送の古川でございます。本日は当物流センターにお越しいただき、移動例会を開催していただきありがとうございます。また、平素より、弊社会長の古川が大変お世話になっております。ありがとうございます。

表彰状・副賞贈呈

古川運送株式会社 社員 多田良恵様に
表彰状及び副賞を贈呈しました。



多田良恵様 ご挨拶

今回はこのような賞をいただきまして、ありがとうございました。コツコツと勤めてきたことがこのような結果になったのかな、と思います。大人としてまだまだ分からぬこと、勉強不足なところが多々あります。これから若い人たちが入ってくるのですけれども、その人たちの良いところをいただきながら成長していきたいと思います。ありがとうございました。

物流センター建設までの経緯

東金物流センターは昨年6月に完成しまして、7月20日より稼働しております。食品配送を主軸としております。これまで東金市薄島において冷蔵庫・冷凍庫が完備した中で配送を行っ

てきましたが、お客様からの需要も高まり、取り扱う物流も増えました。東金市内でどこか良い場所はないだろうかと探し、2014年の秋頃にこの土地が見つかりました。そこから工事の完成に至るまで、こちらにいらっしゃる千葉銀行東金支店に大変お世話になりました。皆様方の御助けをお借りしてようやく稼働できて、今半年を迎えております。食品配送で、冷蔵食品・冷凍食品も配送しております。温度管理・品質管理の徹底を図り、お客様に食の安全をしっかりと届けられるように、ということで日々やっております。

従業員満足度を高めるために

またこのセンターを建設するに当たり、従業員満足度を高めたい。社員一人ひとりが働きやすい環境を作りたい。また、それが女性の雇用拡大につながればと思いまして、いくつか趣向を凝らせました。社員の9割がドライバーで、女性ドライバーはまだ少ないんですけども、それでも全社合わせて9名おります。その女性ドライバーがしっかりとくつろげて、きれいな環境の中で業務に従事できたらと思って、休憩室や仮眠室を男女で分けたりしました。また、障害者の雇用の促進に着眼しまして、車いすの方が業務出来るようにスロープを設置し、専用のトイレも設けてあります。そういうことがすぐに雇用に結び付くわけではありませんが、雇用の拡大につなげていけたらな、と考えております。

結びとしまして、我々古川運送東金物流センター一丸となって社業にまい進し、それが地域の発展への貢献になるよう引き続き務めて参りたいと思いますので何卒宜しくお願ひ致します。本日はありがとうございます。

補足説明



古川秀夫 代表取締役会長

配達エリアとシステム

今、社長の方から概略について説明がありましたが、この施設は食品を中心にしております。他の荷主さんの関係は薄島の本社です。食品関係のうち外房関係（千葉から房総半島、銚子・鹿島）が東金物流センターのエリア、国道51号から上側の東京寄りの方は松戸からの配達エリアとなっています。

センターの中心的な荷主さんはキューピーさんです。キューピーさんの物流会社で株式会社キューソー流通システムさんというのがあります。沖縄を除く国内全域を配達しています。東金物流センターは倉庫機能も備えておりますが、まず配達関係は夜から早朝にかけて、ほと

んどが大型トラックですが、うちの車が引き取りに行ったり、向こうから持ち込まれたりしたものがこちらに入ってきます。それを朝にかけて降ろして荷分けをして 2 トン、4 トンに品揃えして、ここから外房、銚子方面ということで全域に配達します。全国のキューソースルー便というのがありますと、配達した先に荷を下ろして、全国向けの三温度帯の荷を積んで夕方に戻ってきます。それをまた、各方面別に仕分けして積んで、松戸・東京・茨城などにあるベースセンターという所に持ち込みます。そうすると夜のうちに各店舗に荷物が行くという仕組みです。

ですから、うちがやった荷物はうちの仲間が配達してくれるし、その他の荷主さんの荷物も含めて地方から来た車が積んできた荷物が朝には着くという形です。ここは冷凍・冷蔵・常温の三温度帯です。荷物の割合は冷凍・冷蔵品と常温品がほぼ半々です。これがここでの主な作業でございます。

24 時間 365 日、配達は正月の三が日は休みますけれども、キューピータマゴさんが仕事をしていますと、液卵（えきらん）も扱っています。ですので、休みなく動いているという状況でございます。

食品を扱うに際する配慮

食品は多岐にわたっています。毎日、「こんなにたくさんの物を全部食べちゃうのかな」と思うほどの量が入ってきます。食品は品質管理が厳しくございまして、事務所内は土足ではなく、お客様にも靴を履きかえてもらうくらいに食品に対して気配りをしています。

この施設を建てるに当たって、働く人たちが良い環境の中で働けるように、そして誇りの持

てる会社にしたいなということで配慮をさせていただきました。



夢は かなう

私は 22 歳で創業をしまして、この施設が建ったときはちょうど創業 50 年だったんですね。当時は所帯持ちが一人もいなくて、「所帯持ちが働く職場」「誇りの持てる職場」「会社の中で、親が子供を入れたい会社」「職場の中で結婚できる職場」を念願しておりました。そして、国旗と安全旗と社旗を掲げられる会社にしたいと。旗の方はこちらのセンターで実現しました。自分が思っていることが少しづつ実現していくなあと思います。希望とか夢というのは、まず持ってそこに向かっていく。あきらめなければいつかは達成できるんだな、と感じました。そういうことが 50 周年を迎えて走馬灯のようにいろいろと蘇ってきました。そして、このロータ

リーの皆さんに会えたことも私がここまで来られたことのきっかけとなったと思い、感謝の気持ちでいっぱいです。

質疑

(秋葉幹事) ドローンを使った事業などは考えておられますか

(古川社長) 物流環境は今急激に変わろうとしています。時機は特定できませんが、そうしたことが当たり前になっていると思います。自動車の自動運転、今は乗用車を筆頭に開発していますが、これからそういう時代になってくるのだと思います。機会があればドローンも使ってみたいと思います。

(古川会長) ドローンは宅配で軽い荷物を運ぶものになるでしょう。私はそれよりも無人運転に関心を持っています。第二東名が完成しましたが、私の頭によぎったのは、高速道路じゃなくて自動運転ができる道路を作ればよいということです。自動運転の専用道路。ヒントになったのはゴルフ場の電動カートです。国交省はだいぶ前から考えていると思います。私が考えるくらいですから(笑) 自動運転は間違いなくできるでしょう。今、荷捌きの場での自動化が進んでいます。この方式を利用すれば、車で同じことが出来るようになる。

そうなると、今度は大資本が参画してくるでしょう。今の大資本は長距離を走っていません。人件費が高くなるからです。人手不足ですから、自動運転は確実に進む。その時にわれわれはどういう仕事を出来るかを考えなくてはなりません。あと10年もすればがらりと変わるでしょうね。自動運転の乗用車からトラックに広がる。ドライバー不足は解消するでしょう。

どんな職業でも、大きな先を見るのは学者さん。学者が未来を予測する。どの学者の言うこ

とを取り入れるか政府が決めるわけですね。それを楽しみにしていきたいと思っています。



(岡本会員) 物流は世の中の経済を一番早く診ることが出来るのではないかと思いますが、今の経済情勢はどうでしょうか。よくなる予兆はありますか？

(古川会長) 建設関係なんかの話を聞くと一番先に忙しくなるのは設計屋さんだそうです。ある意味で我々のところが動き始めるのは、完全に良くなつてからですね。いろいろなところで話を聴いていると、予兆は感じます。

(菅原会員) ドライバーの採用について、免許の取得は条件ですか？会社で取得させるのですか？



(古川会長)

14、5年間、毎年1~3名、高卒のドライバーを採用しています。高卒では普通免許ですから2トン車しか運転できないんですね。それがこの春から制度が変わりますね。

(菅原会員) 3月12日からです。現行制度では高卒ですと3トン未満しか乗れませんでした。そこでトラック協会と、全国の高校校長会が政治力を発揮して準中型免許というのが出来たんです。われわれはそのための準備でいろいろと忙しくしています。準中型、私共でもやるんですけども、はたして取る人がいるんだろうかと。3月12日以降の普通免許では2トン未満になりますからほとんど何もできません。今までの3トン未満の人たちが、限定解除ということで準中型を取ってくれるかなあと期待しているんですが、そういう免許の関係について御社は会社としてどのような対策をされていますか。

(古川会長) 業界としては準中型を取る人はいると思うんですが、全体からみるとわずかでしょうね。



最初の頃は18歳で全部乗れたんですが、法改正（現行制度）で3トン未満は乗れないとなつた。それでも人材を探るために投資だということで、20歳で限定解除取れるまでのドライバーには、2トンの車を買ってやってました。赤字でしたが、若手が育って、今大変な戦力になっています。

目先の利益にとらわれて赤字だから採らないとやっていたら、今、十数名の若手がいなかつたことになります。若手は活力になります。女性も私の会社にとって活力です。

一台ごとの売り上げとしてみれば見劣りしますが、投資、活力として見ると、会社にとって計り知れないメリットになっていきます。

ですから、会社で〇年いたら返済しなくていいという条件で、会社の方で免許のための費用を出して取らせています。

※文中及び図中の重量は、最大積載量に統一しました：編者



倉庫見学

—20°C、5°C、常温の三温度带の倉庫を見学しました。



しっかり着込んで、見学に出かけます



手前の扉の向こうが5°Cの倉庫

その奥に見える黄色い扉の向こうが氷点下20°Cの倉庫

扉にはエアーカーテンがあり、強い風が吹いています

欠席・Makeup の連絡は、前日までに（緊急の場合は当日10時までに）事務局宛に、電話・FAX・Eメールにてお願いします。メイキャップ先への事前連絡もお忘れなく。

電話 090-7634-7175 / FAX 050-3730-2559
Email: info@togane-rc.jp



この時間はがらんとしていますが、深夜2時には配送品でいっぱいになるのだそうです



こちらが氷点下20°Cの倉庫です
写真では、室温をお伝えできないのが残念ですが
入った瞬間に顔がピリピリしました

お知らせ

2月15日(水)のIMにバスで行かれる方は
12:30に東金商工会議所前に集合となります
各自、昼食を済ませてご参集ください

出席率 1月24日

会員数	出席率	コインBOX
17名	82.35%	0円